

相原駅周辺まちづくりニュース Vol.6

2011年7月26日発行
発行者 町田市

相原駅周辺街づくりに関しては、新しい協議組織の説明会を3月12日に予定していましたが、東日本大震災の影響により、急遽5月に延期して開催いたしました。延期による日程変更について皆様にお詫び申し上げるとともに、震災において被災された方々にお見舞いを申し上げます。

今回のまちづくりニュースでは、説明会を経て6月10日に開催した第1回全体会の模様をお伝えします。会の名称については、参加された皆様の賛同を得て「相原みちまち推進会議」といたしました。この会が相原のみちとまちを良くしていくよう、今後とも皆様のご協力をお願いします。

相原みちまち推進会議 第1回全体会

進行役 法政大学デザイン工学部

高見公雄 教授

法政大学高見教授より、提言書「相原駅周辺街づくりに向けて」の内容の紹介とコメントをすると
いう形で進行しました。

提言書の内容：土地利用について

- ☞ 地域の顔・拠点として機能を整える
- ☞ 住宅を中心としたまちづくり
- ☞ 市民センターの移転の検討
- ☞ ある程度のボリュームある街づくり

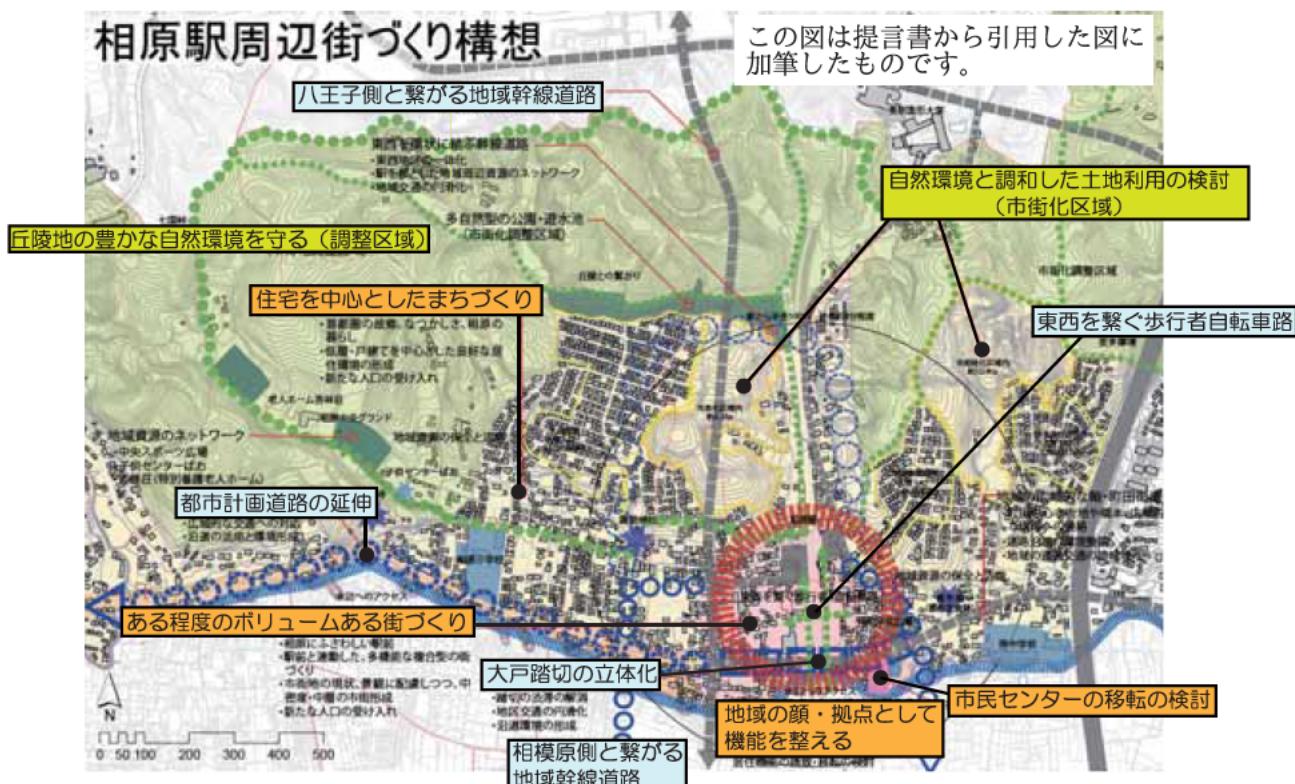
まちづくりを進めるうえでの行政の役割は、道路や公園といった基盤をつくることが主であり、自ら建物を建てるのは限界があります。そのため、商業などの機能を呼び込んでいく部分は、皆さんを含めた地域として取り組まなければなりません。

提言書の内容：道路等について

- ☞ 八王子側と繋がる地域幹線道路
- ☞ 相模原側と繋がる地域幹線道路
- ☞ 大戸踏切の立体化
- ☞ 都市計画道路の延伸
- ☞ 東西をつなぐ歩行者・自転車道路

色々な道路が提言で示されていますが、急いでつくる道路・急がなくてもいい道路を区別して、急ぐものに集中投資すべきです。西口の都市計画道路はすでにできつつありますが、踏切の立体化や関連する道路も急いだほうがよいものでしょう。

また提言では触れられていませんが、境川についても、原風景として景観面の良さがある一方で、水害の危険があるため、防災面も重視して今後のあり方を考える必要があります。



*提言書は下記の市のホームページで閲覧可能です。閲覧できない方はまちづくり推進課までお問い合わせください。
トップページ >暮らし>住まい・道路>都市づくり>身近な地区の街づくり>相原駅周辺の街づくり 提言書 「相原駅周辺街づくりに向けて」
http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/sumai/toshikei/t_07/aihara/0670120110301114934379.html

提言書の内容：自然環境について

自然環境と調和した土地利用の検討

丘陵地の豊かな自然環境を守る

相原には、市街化区域（すでに市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域）と市街化調整区域（市街化を抑制すべき区域）がありますが、調整区域でも、建物は基本的に建たないだけであり、緑が守られる保証はありません。

特に、市街化区域では、緑を守ることは大変であり、現在の相原の貴重な緑は地権者の方の努力で守られています。しかし今後も個人の努力だけに頼っていくわけにはいきません。地域で緑を守る方法を考えいかなければいけません。

提言書の内容：立体交差について

立体交差については、現行案は基準通りのつくりになっており、どのようなつくりの道路が使いやすいのか、構造基準の中でできる範囲で考えていきたい。

会場からのご質問と回答（主な質疑を抜粋して掲載しています）

Q 近くにリニア新幹線の駅ができそうだが、その際には将来計画を見直す必要が出てくるのではないか。

A リニア新幹線といつても東京からすぐの駅であり、東海道新幹線などみればわかるように影響は大きくはないと考えている。ただ、観光客を積極的に誘致したいという選択を皆さんができるのであれば、そちらを目指して頑張っていこうということはあり得ると思う。（高見教授）

Q 提言書の内容は、市も含めて合意された内容と考えていいのか。

A あくまでも提案であって、合意したというわけでなく、これをたたき台としようということです。（町田市）

Q 道路の整備などの話は、権利者の人が集まって協議をしていけば色々反対がでてくるのではないか。

A どこに道をつくるのかについては、市民の方の意見を伺いながら、合理的に市が決めていきます。（町田市）

Q 会に参加できない人も多い。色々な人の意見を取り込んでいくことが大事だと思うので、町会単位で意見を持ち寄っていくような仕組みを考えてはどうか。

A 全体会に出にくい方々の意見が町会単位で持ち寄れるのであれば、その仕組みはあり得ると思う。とにかく会に関わる人が増えていってほしいと思っています。（高見教授）

町会単位で集約すると街全体として意見がまとまらないこともあると思われるが、検討したい。（町田市）

Q 踏切を立体化しないという選択肢はあり得るのでしょうか。

A 立体化は、都市計画として示されており、東京都も道路整備を進めていく予定なので、進むと考えたほうがいい。立体化するとして、どのような作り方がよいのかを提案していけばいいのではないか。（高見教授）

立体化は地域の要請から始まったものであることもご理解いただきたい。（町田市）

■今後の予定

9月に相原みちまち推進会議第2回全体会を予定。他にもイベントの開催など検討中です！

今後の予定としては、定期的な全体会開催とこれと並行して地権者の会の立ち上げに向けた会合などを開いていきます。次回全体会は9月に行います。会の内容としては、建物の共同化等の土地利用に関する議題を中心に行う予定です。

また、その他の予定としては、3回、4回の全体会は秋、冬にそれぞれ開催を予定しており、ほかにも皆様のご意見を頂く場の設置や、秋ごろにはイベントの開催も検討しております。

方針が固まり次第、またご連絡を差し上げますので、その際はご協力のほどよろしくお願ひいたします。その他、皆様からのご提案等ありましたら、ぜひ町田市まちづくり推進課までご連絡ください。

5/8 協議組織立ち上げに関する説明会（開催済）

6/10 相原みちまち推進会議 第1回全体会（開催済）

7/ まちづくりニュース vol.6 発行

今ココ
です！

● イベントや全体会以外の集まりの実施など
順次考えていきます。

9/3 相原みちまち推進会議 第2回全体会

10/9 相原ふれあいフェスティバル イベント開催

11/22 相原みちまち推進会議 第3回全体会

2月頃 相原みちまち推進会議 第4回全体会

相原みちまち推進会議 第2回全体会

相原みちまち推進会議第2回全体会は以下の日時で開催いたします。

◆開催日時・会場

日時 9月3日（土曜日）午後7時～

会場 堺市民センター 大ホール